

科目名	専門分野			ディプロマ・ポリシー(DP)	DP3 DP4 DP5		
	地域・在宅看護論			担当教員	外部講師 専任教員		
	生活を支える看護実践						
履修学年	2年	履修学期	後期	単位数	1	時間数	30
授業目標	1. 療養者と家族の健康上の問題や課題を見極め、エンパワメントに着目した援助の必要性を理解する。 2. 療養者には、さまざまな価値観とそれに基づく生活があるため、そこに住む人の個別性を尊重した支援が必要であることが理解できる。						
回	学習内容				方法	担当教員	
1	1) 在宅看護介入時期別の特徴				講義	外部講師	
2	2) 寝たきり状態となった療養者に対する在宅看護（老々介護）				講義		
3	3) 離島で暮らす療養者に対する在宅看護				講義		
4	4) 在宅難病療養者を支援するための法や制度				講義		
5	5) ALSで人工呼吸療法を実施する療養者に対する在宅看護 （難病療養者の支援）				講義		
6	6) 中途障害による脊髄損傷療養者に対する在宅看護				講義		
7	7) 認知症療養者に対する在宅看護（日中独居の高齢者）				講義		
8	8) 重症心身障害児に対する在宅看護 （兄弟がいる医療的ケア児への支援）				講義		
9	9) 施設に入所されている療養者に対する在宅看護				講義		
10	10) COPDの療養者に対する在宅看護				講義・演習		
11	急性増悪で入院となり、今回訪問看護が開始となった						
12	高齢者の事例展開						
13	・ ストレングスに着目した支援・療養者						
14	・ 家族のパートナーとしての看護職のあり方						
15	11) 看護師としての家庭訪問のマナー （初めて訪問する看護師の場面でのロールプレイング）				講義・演習	外部講師	
評価規準 評価方法	演習評価・筆記試験 100点						
テキストおよび 参考文献	専門分野 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の実践（医学書院） 専門分野 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践（医学書院）						
履修上の注 意点							